

- |   |    |
|---|----|
| 1. 国学の目的として、それを明らかにしアピールする日本固有の価値。                                    | 1  |
| 2. <b>PERSON</b> 江戸中期の国学の先駆者。『万葉集』の注釈書を著す。                            | 2  |
| 3. <b>PERSON</b> 江戸中期の国学者。契沖に傾倒し、伊藤仁斎に古義学を学んで古語を研究。                   | 3  |
| 4. <b>PERSON</b> 江戸中期の国学者。荷田春満に学んで『万葉集』を研究。                           | 4  |
| 5. 賀茂真淵が『万葉集』研究を通して見出した「高く直き心」をアピールした、男性的で大らかな万葉調の歌風と人間性。             | 5  |
| 6. 賀茂真淵が批判した、平安時代以降の女性的で繊細な歌風と人間性。                                    | 6  |
| 7. 賀茂真淵が批判した、平安時代以降の中国からの儒家・仏教思想の影響を受けた歌風と人間性。                        | 7  |
| 8. <b>PERSON</b> 江戸中期の国学の大成者。   | 8  |
| 9. 本居宣長が『源氏物語』研究を通して見出した美しいものへの感動や他者の心情への共感をアピールした、文芸の本質。             | 9  |
| 10. 賀茂真淵は批判したが本居宣長が重視した、平安時代以降の女性的で繊細な歌風と人間性。                         | 10 |
| 11. <b>BOOK</b> 本居宣長による『古事記』の注釈書。                                     | 11 |
| 12. 本居宣長が『古事記伝』の中でアピールした、古来から伝わる日本固有の価値（古道）の呼び名。                      | 12 |
| 13. 本居宣長が強調した日本固有の精神と、それに対置される儒家・仏教思想による感化された心。                       | 13 |
| 14. <b>BOOK</b> 本居宣長の著した随筆集。  | 14 |
| 15. <b>PERSON</b> 江戸末期の国学者で、国学を神学化（文芸から政治へ）。                          | 15 |
| 16. 平田篤胤が、『古事記』の内容を信じて神々の子孫である天皇に服従することを説いて完成させた神道。明治維新や昭和の軍国主義につながる。 | 16 |

T. Q. 「真淵→宣長→篤胤の国学の変遷とは？」

T. A.

『万葉集』を研究した賀茂真淵は、高く直き心（「ますらをぶり」）を古道としてアピールした。その後本居宣長は『源氏物語』を研究し、文芸の自律性を主張し、清潔・淡白な大和心が良いとした。また文芸的な国学を説いた2人に対して、平田篤胤は政治的な国学を主張して、復古神道を確立した。